

学校コード

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

順天堂大学

医療科学部

臨床工学科

(必要がある場合) ○○専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 順天堂
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	浦安・日の出キャンパス事務室
職名・氏名	カカミ ^{カカミ} チョウ ^{チョウ} ウスミ ^{ウスミ} フタル ^{フタル} 係長 久住 亘
電話番号	047-354-3311
(夜間)	047-354-3311
e-mail	iryoukagaku@juntendo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医療科学部

＜臨床工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 順天堂

(2) 大学名

順天堂大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒279-0013
千葉県浦安市日の出6丁目8-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ ヒデオキ) 小川 秀興 (平成16年4月)		
学長	(アライ ハジメ) 新井 一 (平成28年4月)		
学部長	(ナガオカ イサオ) 長岡 功 (令和4年4月)		
学科長等	(ミネシマ ミチオ) 峰島 三千男 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療科学部 臨床工学科 学士（臨床工学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	70人	-	71人	-	1.00倍	-	1.00倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	274	(-)	299	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	265	(-)	296	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	123	(-)	136	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	70	(-)	71	(-)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.01	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **転入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	70	-	71	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	70	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	70	[]	141	[]	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	70人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	141人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{141} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医療科学部 臨床工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	人間科学系	科学と哲学	1前	1								1
		生命倫理	1前	1								1
		日本近現代史	1後		2							1
		人間関係論(コミュニケーション論)	1後		2							2
		情報コミュニケーション論	1後		2							1
		臨床心理学	2前		2							2
		法と社会	2前		2							1
		現代社会と経済	2前		2							1
	小計(8科目)	—	2	12	0	0	0	0	0	0	0	7
	自然科学系	基礎数学	1前		1							1
		基礎物理学	1前		1		1					1
		基礎化学	1前		1							1
		基礎生物学	1前		1							1
		情報科学基礎演習	1前	1			1	1				2
小計(5科目)	—	1	4	0	2	1	0	0	0	0	3	
言語とスポーツ系	英語 I	1前	1								3	
	英語 II	1後	1								3	
	英語表現 I	2前		1							2	
	英語表現 II	2後		1							2	
	医療英語	3前		2							1	
	中国語 I (入門)	2前		2							1	
	中国語 II (初級)	2後		2							1	
	フランス語 I (入門)	2前		2							1	
	フランス語 II (初級)	2後		2							1	
	スペイン語 I (入門)	2前		2							1	
	スペイン語 II (初級)	2後		2							1	
	国語表現法	1前	2								3	
	スポーツ理論・実技	1後	1						1		1	
	スポーツ健康運動方法論	1後	1							1	1	
小計(14科目)	—	6	16	0	0	0	0	1	0	0	12	
総合	キャリアデザインゼミナール	1前	1			4	4	1				
小計(1科目)	—	1	0	0	4	4	1	0	0	0	0	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2				1				1
		生化学	1前	2			1					1
		病理学	1後	2								1
		血液学	1後	1								1
		基礎医学実習	1後	1			2	1				1
		小計(6科目)	—	10	0	0	1	2	1	0	0	3
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1前	1								2
		公衆衛生学	1前	2								1
		看護学概論	1後	1								1
		臨床薬理学	1後	2								1
		臨床免疫学	1後	1								1
		病態生理学	1前		1			1				1
		臨床生化学	1前		1			1				1
栄養学・臨床栄養学	1後	1								1		
放射線医学概論	1後	1								1		
医療関連法規	1後	1								1		
チーム医療	4前	1								1		
小計(11科目)	—	7	6	0	0	2	0	0	0	0	8	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	人間科学系	科学と哲学	1前	1								1
		生命倫理	1前	1								2
		日本近現代史	1後		2							1
		人間関係論(コミュニケーション論)	1後		2							2
		情報コミュニケーション論	1後		2							1
		臨床心理学	2前		2							2
		法と社会	2前		2							1
		現代社会と経済	2前		2							1
	小計(8科目)	—	2	12	0	0	0	0	0	0	0	8
	自然科学系	基礎数学	1前		1							1
		基礎物理学	1前		1		1					1
		基礎化学	1前		1							1
		基礎生物学	1前		1							1
		情報科学基礎演習	1前	1			1	1				2
小計(5科目)	—	1	4	0	2	1	0	0	0	0	3	
言語とスポーツ系	英語 I	1前	1								3	
	英語 II	1後	1								3	
	英語表現 I	2前		1							2	
	英語表現 II	2後		1							2	
	医療英語	3前		2							1	
	中国語 I (入門)	2前		2							2	
	中国語 II (初級)	2後		2							2	
	フランス語 I (入門)	2前		2							1	
	フランス語 II (初級)	2後		2							1	
	スペイン語 I (入門)	2前		2							1	
	スペイン語 II (初級)	2後		2							1	
	国語表現法	1前	2								3	
	スポーツ理論・実技	1前	1							1	4	
	スポーツ健康運動方法論	1後	1							1	3	
小計(14科目)	—	6	16	0	0	0	0	0	1	0	15	
総合	キャリアデザインゼミナール	1前	1			4	3	4	2		2	
小計(1科目)	—	1	0	0	4	3	4	2	0	0	2	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2				1	1			3
		生化学	1前	2			1					1
		病理学	1後	2								1
		血液学	1後	1								1
		基礎医学実習	1後	1				1	1			1
		小計(6科目)	—	10	0	0	1	1	2	0	0	6
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1前	1								3
		公衆衛生学	1後	2								1
		看護学概論	1後	1								6
		臨床薬理学	1後	2								1
		臨床免疫学	1後	1								1
		病態生理学	1前		1				1			1
		臨床生化学	1前		1				1			1
栄養学・臨床栄養学	1後	1								1		
放射線医学概論	1後	1								1		
医療関連法規	1前	1								1		
チーム医療	4前	1								1		
小計(11科目)	—	7	6	0	0	0	1	1	0	0	14	

臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学Ⅰ	1前	1			1															
	応用数学Ⅱ	1後	2			1															
	医用電気工学Ⅰ	1後	2				1														
	医用電気工学Ⅱ	2前	2				1														
	医用電子工学Ⅰ	1後	2					1													
	医用電子工学Ⅱ	2前	2						1												
	医用電気・電子工学実験	2前	1						1	1											
	医用機械工学	2後	2				1														
	医用化学工学	2前	1					1													
	計測工学	2前	2							1											
	計測工学演習	2後	1						1	1											
小計(11科目)	—	18	0	0	2	2	1	0	0												
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	基礎情報工学	2後	1				1														
	医用情報処理工学	3前	2				1														
	医用情報処理工学演習	3前	1				1														
	システム工学	2前	2				1														
	システム工学演習	2後	1				1	1													
	臨床統計学	4前	2					1													
小計(6科目)	—	9	0	0	1	2	0	0	0												
医学生体工学	生体物性工学	2後	2				1														
	生体材料工学	2後	2				1														
	医用画像処理工学	4前	2				1														
	医用生体工学演習	3前	1				1	2													
小計(4科目)	—	7	0	0	2	2	0	0	0												
医用機器学	医用機器学概論	1後	2				1														
	生体計測装置学	3前	2					1													
	生体計測装置学実習	3前	1					1	1												
	医用治療技術学Ⅰ	2前	2					1													
	医用治療技術学Ⅱ	2後	2					1													
	医用治療技術学実習	3前	1					2	1												
小計(6科目)	—	10	0	0	0	3	2	0	0												
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学Ⅰ	2前	2				1														
	呼吸機能代行装置学Ⅱ	2後	2				1														
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1					2													
	循環器機能代行装置学Ⅰ	2後	2				1														
	循環器機能代行装置学Ⅱ	3前	2					1													
	循環器機能代行装置学実習	3前	1					1	1												
	代謝機能代行装置学Ⅰ	2前	2				1														
	代謝機能代行装置学Ⅱ	2後	2					1													
	代謝機能代行装置学実習	2後	1					2													
小計(9科目)	—	15	0	0	1	3	1	0	0												
医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2				2														
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1														
	医用機器安全管理学Ⅲ	3前	2				1														
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1													
	医療倫理論	4前	1																	1	
小計(5科目)	—	8	0	0	0	3	1	0	0											1	
関連臨床医学	病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)	1後	2																		2
	病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)	2前	2																		2
	病態学Ⅲ(神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患)	2後	2																		2
	救命救急学概論	3前	1																		1
	集中治療医学	3前	1																		1
小計(5科目)	—	8	0	0	0	0	0	0	0												7
臨床実習	臨床実習	3後	5				4	6	2	0	0										
	小計(1科目)	—	5	0	0	4	6	2	0	0											
総合研究	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	4				4	6	2												
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2				4	6	2												
	卒業研究Ⅰ	3後	1				4	6	2												
	卒業研究Ⅱ	4前	1				4	6	2												
	小計(4科目)	—	8	0	0	4	6	2	0	0											
合計(96科目)	—	115	38	0	4	6	2	1	0	0											38

臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学Ⅰ	1前	1																		1
	応用数学Ⅱ	1後	2							1											
	医用電気工学Ⅰ	1後	2								1										
	医用電気工学Ⅱ	2前	2								1										
	医用電子工学Ⅰ	1後	2									1									
	医用電子工学Ⅱ	2前	2										1								
	医用電気工学実験	2前	1											1	1						
	医用電子工学実験	2前	1												1	1					
	医用機械工学	2後	2																		1
	医用化学工学	2前	1									1									
	計測工学	2前	2																		1
計測工学演習	3後								1					1	1						
小計(12科目)	—	18	1	0	2	1	2	1	2	0	0										
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	基礎情報工学	2後	1				1														
	医用情報処理工学	3前	2				1														
	医用情報処理工学演習	3前	1				1														
	システム工学	2前	2								1										
	システム工学演習	3後									1	1									
	臨床統計学	4後	2									1									
小計(6科目)	—	8	1	0	1	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0						
医学生体工学	生体物性工学	3前	2																		1
	生体材料工学	3前	2																		1
	医用画像処理工学	4前	2								1										
	医用生体工学演習	3前	1								1	1									
小計(4科目)	—	7	0	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	0						
医用機器学及び臨床支援技術	医用機器学概論(臨床支援技術者向け)	1前	2									1									1
	生体計測技術学	3前	2										1	1							
	生体計測技術学実習	3前	1										1	1							
	医用治療技術学Ⅰ	2前	2									1									1
	医用治療技術学Ⅱ	2後	2									1									1
	医用治療技術学実習	3前	1																		2
小計(6科目)	—	10	0	0	0	3	2	0	0	2	3	1	0	0							
生体機能代行技術学	呼吸機能代行技術学Ⅰ	2前	2									1									
	呼吸機能代行技術学Ⅱ	2後	2									1									
	呼吸機能代行技術学実習	2後	1										1	1	1						

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))

<履修方法>

- ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。
- ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」「チーム医療」から4単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修9単位修得すること。
- ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「医用機器学」は、必修10単位修得すること。
- ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。
- ・専門分野「医用安全管理学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「臨床実習」は、必修5単位修得すること。
- ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

必修116単位、選択13単位以上、合計129単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))

<履修方法>

- ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。
- ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「看護学概論」「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」から3単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「医用機器学及び臨床支援技術」は、必修10単位修得すること。
- ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。
- ・専門分野「医療安全管理学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「臨床実習」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎分野	人間科学系	科学と哲学	1前	1							1	
	生命倫理	1前	1								2	
	日本近現代史	1後		2							1	
	人間関係論(コミュニケーション論)	1後		2							2	
	情報コミュニケーション論	1後		2							1	
	臨床心理学	2前		2							2	
	法と社会	2前		2							1	
	現代社会と経済	2前		2							1	
	小計(8科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	8	
	自然科学系	基礎数学	1前		1							1
	基礎物理学	1前		1		1						1
	基礎化学	1前		1								1
	基礎生物学	1前		1								1
	情報科学基礎演習	1前	1			1	1					2
	小計(5科目)	-	1	4	0	2	1	0	0	0	3	
	言語とスポーツ系	英語 I	1前	1								3
	英語 II	1後	1									3
	英語表現 I	2前		1								2
	英語表現 II	2後		1								2
	医療英語	3前		2								1
中国語 I (入門)	2前		2								1	
中国語 II (初級)	2後		2								1	
フランス語 I (入門)	2前		2								1	
フランス語 II (初級)	2後		2								1	
スペイン語 I (入門)	2前		2								1	
スペイン語 II (初級)	2後		2								1	
国語表現法	1前	2									3	
スポーツ理論・実技	1後	1						1			4	
スポーツ健康運動方法論	1後	1						1			4	
小計(14科目)	-	6	16	0	0	0	0	1	0	14		
総合	キャリアデザインゼミナール	1前	1			4	2	1			2	
小計(1科目)	-	1	0	0	4	2	1	0	0	0		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1前	2							1	
	生理学	1前	2				1				3	
	生化学	1前	2			1					1	
	病理学	1後	2								1	
	血液学	1後	1								1	
	基礎医学実習	1後	1				1	1			1	
	小計(6科目)	-	10	0	0	1	1	1	0	0	6	
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1前	1								2
	公衆衛生学	1後	2									1
	看護学概論	1後	1									6
	臨床薬理学	1後	2									1
	臨床免疫学	1後	1									1
	病態生理学	1前		1				1				1
	臨床生化学	1前		1			1					1
栄養学・臨床栄養学	1後		1								1	
放射線医学概論	1後		1								1	
医療関連法規	1前		1								1	
チーム医療	4前		1								1	
小計(11科目)	-	7	6	0	0	1	1	0	0	13		

臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学Ⅰ	1前	1			1														
	応用数学Ⅱ	1後	2			1														
	医用電気工学Ⅰ	1後	2				1													
	医用電気工学Ⅱ	2前	2			1														
	医用電子工学Ⅰ	1後	2				1													
	医用電子工学Ⅱ	2前	2					1												
	医用電気・電子工学実験	2前	1				1		1											
	医用機械工学	2後	2			1														
	医用化学工学	2前	1				1													
	計測工学	2前	2						1											
	計測工学演習	2後	1					1	1											
小計(11科目)	—	18	0			2	2	1	0	0	0	0								
臨床工学システムに必要な医療情報技術と	基礎情報工学	2後	1				1													
	医用情報処理工学	3前	2				1													
	医用情報処理工学演習	3前	1				1													
	システム工学	2前	2			1														
	システム工学演習	2後	1			1	1													
	臨床統計学	4前	2				1													
小計(6科目)	—	9	0			1	2	0	0	0	0	0								
医学生体工学	生体物性工学	3前	2				1													
	生体材料工学	3前	2				1													
	医用画像処理工学	4前	2			1														
	医用生体工学演習	3前	1			1	2													
小計(4科目)	—	7	0			2	2	0	0	0	0	0								
医用機器学	医用機器学概論	1後	2				1													
	生体計測装置学	3前	2					1												
	生体計測装置学実習	3前	1				1	1												
	医用治療技術学Ⅰ	2前	2				1													
	医用治療技術学Ⅱ	2後	2					1												
	医用治療技術学実習	3前	1				1													
小計(6科目)	—	10	0			0	2	2	0	0	0	0								
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学Ⅰ	2前	2				1													
	呼吸機能代行装置学Ⅱ	2後	2				1													
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1				1													
	循環器機能代行装置学Ⅰ	2後	2					1												
	循環器機能代行装置学Ⅱ	3前	2					1												
	循環器機能代行装置学実習	3前	1					1												
	代謝機能代行装置学Ⅰ	2前	2			1														
	代謝機能代行装置学Ⅱ	2後	2				1													
	代謝機能代行装置学実習	2後	1			1	1													
小計(9科目)	—	15	0			1	2	1	0	0	0	0								
医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2				1													
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1													
	医用機器安全管理学Ⅲ	3前	2				1													
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1													
	医療倫理論	4前	1																	1
小計(5科目)	—	8	0			0	1	0	0	0	0	0							1	
関連臨床医学	病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)	1後	2																	2
	病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)	2前	2																	2
	病態学Ⅲ(神経・運動器・感覚覚醒器・小児疾患)	2後	2																	2
	救命救急学概論	3前	1																	1
	集中治療医学	3前	1																	1
小計(5科目)	—	8	0			0	0	0	0	0	0	0							7	
臨床実習	臨床実習	3後	5			4	4	2	0	0	0	0								0
	小計(1科目)	—	5	0		4	4	2	0	0	0	0								0
総合研究	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	4			4	4	2												
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2			4	4	2												
	卒業研究Ⅰ	3後	1			4	4	2												
	卒業研究Ⅱ	4前	1			4	4	2												
	小計(4科目)	—	8	0		4	4	2	0	0	0	0								0
合計(96科目)	—	115	38	0	4	4	2	1	0	0	0	0								45

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))

<履修方法>

- ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。
- ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」「チーム医療」から4単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修9単位修得すること。
- ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「医用機器学」は、必修10単位修得すること。
- ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。
- ・専門分野「医用安全管理学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「臨床実習」は、必修5単位修得すること。
- ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・非常勤講師の就任により、「生命倫理」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「スポーツ理論・実技」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担4」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「スポーツ健康運動方法論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担4」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「キャリアデザインゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授2」に、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担2」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「生理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担3」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「基礎医学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・学修効果をより高めるため、「公衆衛生学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「看護学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担6」に変更
- ・学修効果をより高めるため、「医療運法規」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「病態生理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・学修効果をより高めるため、「生体物性工学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更
- ・学修効果をより高めるため、「生体材料工学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「医用治療技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「医用治療技術学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「呼吸機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「循環器機能代行装置学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「循環器機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「代謝機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の退任により、「医用機器安全管理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の退任により、「医用機器安全管理学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の退任により、「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「臨床工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「臨床工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更

【令和5年度】

- ・非常勤講師の就任により、「中国語Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「中国語Ⅱ(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更
- ・学修効果をより高めるため、「スポーツ理論・実技」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・「スポーツ健康運動方法論」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更
- ・専任教員の就任により、「キャリアデザインゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授3」、「講師1」から「講師4」、「助教0」から「助教2」に変更
- ・教育の質を高めるため、「生理学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「医学概論」専任教員等の配置を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担3」に変更
- ・専任教員の就任により、「応用数学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用機械工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用化学工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・学習効果を高めるため、「看護学概論」を選択必修科目に、「チーム医療」を必修科目に変更
- ・指定規則改正に伴い、「医用電気・電子工学実験(1単位)」を「医用電気工学実験(1単位)」と「医用電子工学実験(1単位)」合計2単位に変更
- ・学修効果を高めるため、「計測工学演習」を「2後」から「3後」に変更し、必修科目から選択必修科目に変更
- ・学修効果を高めるため、「システム工学演習」を「2後」から「3後」に変更、必修科目から選択必修科目に変更
- ・学修効果を高めるため、「臨床統計学」を「4前」から「4後」に変更
- ・専任教員の就任により、「生体物性工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「生体材料工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用生体工学演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・指定規則改正により、科目区分「医用機器学」を「医用機器学及び臨床支援技術」に変更
- ・指定規則改正により、「医用機器学概論」を「医用機器学概論(臨床支援技術論含む)」に変更
- ・学修効果を高めるため、「医用機器学概論(臨床支援技術論含む)」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「医用機器学概論(臨床支援技術論含む)」を「1後」を「1前」に変更
- ・指定規則改正により、「生体計測装置学」を「生体計測技術学」に変更
- ・学修効果を高めるため、「生体計測技術学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・指定規則改正により、「生体計測装置学実習」を「生体計測技術学実習」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用治療技術学Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「医用治療技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用治療技術学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師2」に変更
- ・指定規則改正により、「呼吸機能代行装置学Ⅰ」を「呼吸機能代行技術学Ⅰ」に変更
- ・指定規則改正により、「呼吸機能代行装置学Ⅱ」を「呼吸機能代行技術学Ⅱ」に変更
- ・指定規則改正により、「呼吸機能代行装置学実習」を「呼吸機能代行技術学実習」に変更
- ・専任教員の就任により、「呼吸機能代行技術学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「循環器機能代行装置学Ⅰ」を「循環器機能代行技術学Ⅰ」に変更
- ・指定規則改正により、「循環器機能代行装置学Ⅱ」を「循環器機能代行技術学Ⅱ」に変更
- ・指定規則改正により、「循環器機能代行装置学実習」を「循環器機能代行技術学実習」に変更
- ・専任教員の就任により、「循環器機能代行技術学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「代謝機能代行装置学Ⅰ」を「代謝機能代行技術学Ⅰ」に変更
- ・専任教員の就任により、「代謝機能代行技術学Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「代謝機能代行装置学Ⅱ」を「代謝機能代行技術学Ⅱ」に変更
- ・専任教員の退任により、「代謝機能代行技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「代謝機能代行装置学実習」を「代謝機能代行技術学実習」に変更
- ・専任教員の退任により、「代謝機能代行技術学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「医用機器安全管理学Ⅰ」を「医療安全管理学Ⅰ」に変更
- ・専任教員の就任により、「医療安全管理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「医用機器安全管理学Ⅱ」を「医療安全管理学Ⅱ」に変更
- ・専任教員の就任により、「医療安全管理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「医用機器安全管理学Ⅲ」を「医療安全管理学Ⅲ」に変更
- ・専任教員の就任により、「医療安全管理学Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・指定規則改正により、「医用機器安全管理学実習」を「医療安全管理学実習」に変更
- ・専任教員の就任により、「医療安全管理学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師3」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更
- ・学修効果を高めるため、「病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「臨床工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「臨床工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・学習効果をより高めるため、専門分野「臨床工学に必要な医学的基礎」の選択科目の履修方法を変更
- ・学修効果をより高めるため、履修上限を「46単位」から「48単位」に変更

- (注) 2(1) ①-1 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

2 授業科目の概要

<医療科学部 臨床工学科>旧カリキュラム (指定規則)

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	人間科学系	科学と哲学	1前	1									1
	人間科学系	生命倫理	1前	1									1
	人間科学系	日本近現代史	1後		2								1
	人間科学系	人間関係論(コミュニケーション論)	1後		2								2
	人間科学系	情報コミュニケーション論	1後		2								1
	人間科学系	臨床心理学	2前		2								2
	人間科学系	法と社会	2前		2								1
	人間科学系	現代社会と経済	2前		2								1
	人間科学系	小計(8科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	0	7
	自然科学系	基礎数学	1前		1								1
	自然科学系	基礎物理学	1前		1		1						1
	自然科学系	基礎化学	1前		1								1
自然科学系	基礎生物学	1前		1								1	
自然科学系	情報科学基礎演習	1前		1		1	1					2	
自然科学系	小計(5科目)	-	1	4	0	2	1	0	0	0	0	3	
言語とスポーツ系	英語 I	1前		1									3
	英語 II	1後		1									3
	英語表現 I	2前			1								2
	英語表現 II	2後			1								2
	医療英語	3前			2								1
	中国語 I (入門)	2前			2								1
	中国語 II (初級)	2後			2								1
	フランス語 I (入門)	2前			2								1
	フランス語 II (初級)	2後			2								1
	スペイン語 I (入門)	2前			2								1
	スペイン語 II (初級)	2後			2								1
	国語表現法	1前		2									3
	スポーツ理論・実技	1後		1					1				4
	スポーツ健康運動方法論	1後		1						1			3
小計(14科目)	-	6	16	0	0	0	0	0	1	0	0	12	
総合	キャリアデザインゼミナール	1前		1			4	4	1				
総合	小計(1科目)	-	1	0	0	4	4	1	0	0	0	0	
専門基礎分野	解剖学	1前		2									1
	生理学	1前		2				1					3
	生化学	1前		2		1							1
	病理学	1後		2									1
	血液学	1後		1									1
	基礎医学実習	1後		1			2	1					
	小計(6科目)	-	10	0	0	1	2	1	0	0	0	0	3
	医学概論	1前		1									2
	公衆衛生学	1前		2									1
	看護学概論	1後		1									1
	臨床薬理学	1後		2									1
	臨床免疫学	1後		1									1
病態生理学	1前			1		1						1	
臨床生化学	1前			1		1						1	
栄養学・臨床栄養学	1後		1									1	
放射線医学概論	1後		1									1	
医療関連法規	1後		1									1	
チーム医療	4前		1									1	
小計(11科目)	-	7	6	0	0	2	0	0	0	0	0	8	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎分野	人間科学系	科学と哲学	1前	1									1
	人間科学系	生命倫理	1前	1									2
	人間科学系	日本近現代史	1後		2								1
	人間科学系	人間関係論(コミュニケーション論)	1後		2								2
	人間科学系	情報コミュニケーション論	1後		2								1
	人間科学系	臨床心理学	2前		2								2
	人間科学系	法と社会	2前		2								1
	人間科学系	現代社会と経済	2前		2								1
	人間科学系	小計(8科目)	-	2	12	0	0	0	0	0	0	0	8
	自然科学系	基礎数学	1前		1								1
	自然科学系	基礎物理学	1前		1		1						1
	自然科学系	基礎化学	1前		1								1
自然科学系	基礎生物学	1前		1								1	
自然科学系	情報科学基礎演習	1前		1		1	1					2	
自然科学系	小計(5科目)	-	1	4	0	2	1	0	0	0	0	3	
言語とスポーツ系	英語 I	1前		1									3
	英語 II	1後		1									3
	英語表現 I	2前			1								2
	英語表現 II	2後			1								2
	医療英語	3前			2								1
	中国語 I (入門)	2前			2								2
	中国語 II (初級)	2後			2								2
	フランス語 I (入門)	2前			2								1
	フランス語 II (初級)	2後			2								1
	スペイン語 I (入門)	2前			2								1
	スペイン語 II (初級)	2後			2								1
	国語表現法	1前		2									3
	スポーツ理論・実技	1後		1							1		4
	スポーツ健康運動方法論	1後		1							1		3
小計(14科目)	-	6	16	0	0	0	0	0	0	1	0	15	
総合	キャリアデザインゼミナール	1前		1			4	3	4	2			2
総合	小計(1科目)	-	1	0	0	4	3	4	2	0	0	2	
専門基礎分野	解剖学	1前		2									1
	生理学	1前		2				1		1			3
	生化学	1前		2		1							1
	病理学	1後		2									1
	血液学	1後		1									1
	基礎医学実習	1後		1					1	1			
	小計(6科目)	-	10	0	0	1	1	2	0	0	0	0	6
	医学概論	1前		1									3
	公衆衛生学	1後		2									1
	看護学概論	1後		1									6
	臨床薬理学	1後		2									1
	臨床免疫学	1後		1									1
病態生理学	1前			1				1				1	
臨床生化学	1前			1				1				1	
栄養学・臨床栄養学	1後		1									1	
放射線医学概論	1後		1									1	
医療関連法規	1後		1									1	
チーム医療	4前		1									1	
小計(11科目)	-	7	6	0	0	0	1	1	0	0	0	14	

臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学Ⅰ	1前	1				1													
	応用数学Ⅱ	1後	2				1													
	医用電気工学Ⅰ	1後	2					1												
	医用電気工学Ⅱ	2前	2				1													
	医用電子工学Ⅰ	1後	2						1											
	医用電子工学Ⅱ	2前	2							1										
	医用電気・電子工学実験	2前	1							1	1									
	医用機械工学	2後	2						1											
	医用化学工学	2前	1							1										
	計測工学	2前	2								1									
計測工学演習	2後	1								1	1									
小計(11科目)	-	18	0	0			2	2	1	0	0									
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	基礎情報工学	2後	1					1												
	医用情報処理工学	3前	2					1												
	医用情報処理工学演習	3前	1					1												
	システム工学	2前	2						1											
	システム工学演習	2後	1						1	1										
	臨床統計学	4前	2							1										
小計(6科目)	-	9	0	0			1	2	0	0	0									
医学生体工学	生体物性工学	2後	2					1												
	生体材料工学	2後	2					1												
	医用画像処理工学	4前	2						1											
	医用生体工学演習	3前	1					1	2											
小計(4科目)	-	7	0	0			2	2	0	0	0									
医用機器学	医用機器学概論	1後	2					1												
	生体計測装置学	3前	2						1											
	生体計測装置学実習	3前	1						1	1										
	医用治療技術学Ⅰ	2前	2						1											
	医用治療技術学Ⅱ	2後	2						1											
	医用治療技術学実習	3前	1						2	1										
小計(6科目)	-	10	0	0			0	3	2	0	0									
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学Ⅰ	2前	2					1												
	呼吸機能代行装置学Ⅱ	2後	2					1												
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1					2												
	循環器機能代行装置学Ⅰ	2後	2					1												
	循環器機能代行装置学Ⅱ	3前	2						1											
	循環器機能代行装置学実習	3前	1						1	1										
	代謝機能代行装置学Ⅰ	2前	2						1											
	代謝機能代行装置学Ⅱ	2後	2						1											
	代謝機能代行装置学実習	2後	1						2											
小計(9科目)	-	15	0	0			1	3	1	0	0									
医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2					2												
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2					1												
	医用機器安全管理学Ⅲ	3前	2					1												
	医用機器安全管理学実習	3前	1					1	1											
	医療倫理論	4前	1																1	
	小計(5科目)	-	8	0	0			0	3	1	0	0								1
関連臨床医学	病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)	1後	2																	2
	病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)	2前	2																	2
	病態学Ⅲ(神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患)	2後	2																	2
	救命救急学概論	3前	1																	1
	集中治療医学	3前	1																	1
	小計(5科目)	-	8	0	0			0	0	0	0	0								7
臨床実習	臨床実習	3後	5					4	6	2	0	0								
	小計(1科目)	-	5	0	0			4	6	2	0	0								0
総合研究	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	4					4	6	2										
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2					4	6	2										
	卒業研究Ⅰ	3後	1					4	6	2										
	卒業研究Ⅱ	4前	1					4	6	2										
	小計(4科目)	-	8	0	0			4	6	2	0	0								0
合計(96科目)	-	115	38	0			4	6	2	1	0									38

臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学Ⅰ	1前	1											1						
	応用数学Ⅱ	1後	2									1								
	医用電気工学Ⅰ	1後	2										1							
	医用電気工学Ⅱ	2前	2											1						
	医用電子工学Ⅰ	1後	2												1					
	医用電子工学Ⅱ	2前	2													1				
	医用電気・電子工学実験	2前	1													1	1			
	医用機械工学	2後	2														1			
	医用化学工学	2前	1												1					
	計測工学	2前	2															1		
計測工学演習	2後	1													1	1				
小計(11科目)	-	18	0	0			2	2	1	2	1	2	0	0	0	0				
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	基礎情報工学	2後	1					1												
	医用情報処理工学	3前	2					1												
	医用情報処理工学演習	3前	1					1												
	システム工学	2前	2						1											
	システム工学演習	2後	1						1	1										
	臨床統計学	4前	2							1										
小計(6科目)	-	9	0	0			1	2	0	0	0								0	
医学生体工学	生体物性工学	3前	2											1						
	生体材料工学	3前	2											1						
	医用画像処理工学	4前	2							1										
	医用生体工学演習	3前	1						1	1										
小計(4科目)	-	7	0	0			2	2	1	1	0								0	
医用機器学	医用機器学概論	1後	2											1			1			
	生体計測装置学	3前	2							1										
	生体計測装置学実習	3前	1							1	1									
	医用治療技術学Ⅰ	2前	2							1										
	医用治療技術学Ⅱ	2後	2							1										
	医用治療技術学実習	3前	1							2	1									
小計(6科目)	-	10	0	0			0	2	3	1	0								0	
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学Ⅰ	2前	2							1										
	呼吸機能代行装置学Ⅱ	2後	2							1										
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1							2										
	循環器機能代行装置学Ⅰ	2後	2							1										
	循環器機能代行装置学Ⅱ	3前	2								1									
	循環器機能代行装置学実習	3前	1							1	1									
	代謝機能代行装置学Ⅰ	2前	2							1										
	代謝機能代行装置学Ⅱ	2後	2							1										
	代謝機能代行装置学実習	2後	1							2										
小計(9科目)	-	15	0	0			1	1	2	1	0								0	
医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2							1				1	2	1				
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2							1				2	1					
	医用機器安全管理学Ⅲ	3前	2							1					1					
	医用機器安全管理学実習	3前	1							1	1			3	1					
	医療倫理論	4前	1																	1
	小計(5科目)	-	8	0	0			0	1	3	1	0			1	3	1	0		1
関連臨床医学	病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)	1後	2																	3
	病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)	2前	2																	3
	病態学Ⅲ(神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患)	2後	2																	2
	救命救急学概論	3前	1																	1
	集中治療医学	3前	1																	1
	小計(5科目)	-	8	0	0			0	0	0	0	0			0	0	0			8
臨床実習	臨床実習	3後	5					4	6	2	3	4	1							
	小計(1科目)	-	5	0	0			4	6	2	3	4	1	0	0					0
総合研究	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	4					4	6	2				4	3	4				
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2					4	6	2				4	3	4				
	卒業研究Ⅰ	3後	1					4												

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))

<履修方法>

- ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。
- ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」「チーム医療」から4単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修9単位修得すること。
- ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「医用機器学」は、必修10単位修得すること。
- ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。
- ・専門分野「医用安全管理学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「臨床実習」は、必修5単位修得すること。
- ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))

<履修方法>

- ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。
- ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「看護学概論」「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」から3単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「医用機器学及び臨床支援技術」は、必修10単位修得すること。
- ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。
- ・専門分野「医療安全管理学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「臨床実習」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎分野	人間科学系	科学と哲学	1前	1							1	
	生命倫理	1前	1								2	
	日本近現代史	1後		2							1	
	人間関係論(コミュニケーション論)	1後		2							2	
	情報コミュニケーション論	1後		2							1	
	臨床心理学	2前		2							2	
	法と社会	2前		2							1	
	現代社会と経済	2前		2							1	
	小計(8科目)	—	2	12		0	0	0	0	0	8	
	自然科学系	基礎数学	1前		1							1
	基礎物理学	1前		1		1						1
	基礎化学	1前		1								1
	基礎生物学	1前		1								1
	情報科学基礎演習	1前	1			1	1					2
	小計(5科目)	—	1	4		2	1	0	0	0	3	
	言語とスポーツ系	英語 I	1前	1								3
	英語 II	1後	1									3
	英語表現 I	2前		1								2
	英語表現 II	2後		1								2
	医療英語	3前		2								1
	中国語 I (入門)	2前		2								1
	中国語 II (初級)	2後		2								1
	フランス語 I (入門)	2前		2								1
フランス語 II (初級)	2後		2								1	
スペイン語 I (入門)	2前		2								1	
スペイン語 II (初級)	2後		2								1	
国語表現法	1前	2									3	
スポーツ理論・実技	1後	1						1			4	
スポーツ健康運動方法論	1後	1						1			4	
小計(14科目)	—	6	16		0	0	0	1	0	14		
総合	キャリアデザインゼミナール	1前	1			4	2	1			2	
小計(1科目)	—	1	0		4	2	1	0	0	0		
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1前	2							1	
	生理学	1前	2				1				3	
	生化学	1前	2		1						1	
	病理学	1後	2								1	
	血液学	1後	1								1	
	基礎医学実習	1後	1				1	1			1	
	小計(6科目)	—	10	0		1	1	1	0	0	6	
	臨床工学に必要な医学的基礎	医学概論	1前	1								2
	公衆衛生学	1後	2									1
	看護学概論	1後	1									6
	臨床薬理学	1後	2									1
	臨床免疫学	1後	1									1
	病態生理学	1前		1				1				1
	臨床生化学	1前		1			1					1
栄養学・臨床栄養学	1後		1								1	
放射線医学概論	1後		1								1	
医療関連法規	1前		1								1	
チーム医療	4前		1								1	
小計(11科目)	—	7	6		0	1	1	0	0	13		

臨床工学に必要な理工学的基礎	応用数学Ⅰ	1前	1			1														
	応用数学Ⅱ	1後	2			1														
	医用電気工学Ⅰ	1後	2				1													
	医用電気工学Ⅱ	2前	2			1														
	医用電子工学Ⅰ	1後	2				1													
	医用電子工学Ⅱ	2前	2					1												
	医用電気・電子工学実験	2前	1				1	1												
	医用機械工学	2後	2			1														
	医用化学工学	2前	1				1													
	計測工学	2前	2						1											
	計測工学演習	2後	1					1	1											
小計(11科目)	—	18	0			2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨床工学システムに必要な医療情報技術と	基礎情報工学	2後	1				1													
	医用情報処理工学	3前	2				1													
	医用情報処理工学演習	3前	1				1													
	システム工学	2前	2			1														
	システム工学演習	2後	1			1	1													
	臨床統計学	4前	2				1													
小計(6科目)	—	9	0			1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学生体工学	生体物性工学	3前	2				1													
	生体材料工学	3前	2				1													
	医用画像処理工学	4前	2			1														
	医用生体工学演習	3前	1			1	2													
小計(4科目)	—	7	0			2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医用機器学	医用機器学概論	1後	2				1													
	生体計測装置学	3前	2					1												
	生体計測装置学実習	3前	1				1	1												
	医用治療技術学Ⅰ	2前	2				1													
	医用治療技術学Ⅱ	2後	2					1												
	医用治療技術学実習	3前	1				1	1												
小計(6科目)	—	10	0			0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学Ⅰ	2前	2				1													
	呼吸機能代行装置学Ⅱ	2後	2				1													
	呼吸機能代行装置学実習	2後	1				1													
	循環器機能代行装置学Ⅰ	2後	2					1												
	循環器機能代行装置学Ⅱ	3前	2					1												
	循環器機能代行装置学実習	3前	1					1												
	代謝機能代行装置学Ⅰ	2前	2			1														
	代謝機能代行装置学Ⅱ	2後	2				1													
	代謝機能代行装置学実習	2後	1			1	1													
小計(9科目)	—	15	0			1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
医用安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2前	2				1													
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1													
	医用機器安全管理学Ⅲ	3前	2				1													
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1													
	医療倫理論	4前	1																	1
小計(5科目)	—	8	0			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
関連臨床医学	病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)	1後	2																	2
	病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)	2前	2																	2
	病態学Ⅲ(神経・運動器・感覚覚醒器・小児疾患)	2後	2																	2
	救命救急学概論	3前	1																	1
	集中治療医学	3前	1																	1
小計(5科目)	—	8	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
臨床実習	臨床実習	3後	5			4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計(1科目)	—	5	0		4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合研究	臨床工学総合演習Ⅰ	3通	4			4	4	2												
	臨床工学総合演習Ⅱ	4通	2			4	4	2												
	卒業研究Ⅰ	3後	1			4	4	2												
	卒業研究Ⅱ	4前	1			4	4	2												
	小計(4科目)	—	8	0		4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(96科目)	—	115	38	0		4	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45

卒業要件及び履修方法

<卒業要件>

必修115単位、選択14単位以上、合計129単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:46単位(1年次・2年次)、40単位(3年次・4年次))

<履修方法>

- ・基礎分野の「人間科学系」は、必修2単位に加え、「日本近現代史」「人間関係論(コミュニケーション論)」「情報コミュニケーション論」「臨床心理学」「法と社会」「現代社会と経済」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「自然科学系」は、必修1単位に加え、「基礎数学」「基礎物理学」「基礎化学」「基礎生物学」から2単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「言語とスポーツ系」は、必修6単位に加え、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「医療英語」「中国語Ⅰ(入門)」「中国語Ⅱ(初級)」「フランス語Ⅰ(入門)」「フランス語Ⅱ(初級)」「スペイン語Ⅰ(入門)」「スペイン語Ⅱ(初級)」から4単位以上修得すること。
- ・基礎分野の「総合」は必修1単位修得すること。
- ・専門基礎分野「人体の構造と機能」は、必修10単位修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医学的基礎」は、必修7単位に加え、「病態生理学」「臨床生化学」「栄養学・臨床栄養学」「放射線医学概論」「医療関連法規」「チーム医療」から4単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な理工学的基礎」は、必修18単位以上修得すること。
- ・専門基礎分野「臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」は、必修9単位修得すること。
- ・専門分野「医用生体工学」は、必修7単位修得すること。
- ・専門分野「医用機器学」は、必修10単位修得すること。
- ・専門分野「生体機能代行技術学」は、必修15単位修得すること。
- ・専門分野「医用安全管理学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「関連臨床医学」は、必修8単位修得すること。
- ・専門分野「臨床実習」は、必修5単位修得すること。
- ・専門分野「総合研究」は、必修8単位修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・非常勤講師の就任により、「生命倫理」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「スポーツ理論・実技」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任4」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「スポーツ健康運動方法論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任4」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「キャリアデザインゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授2」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「生理学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任3」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「基礎医学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「公衆衛生学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「看護学概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」に変更
- ・学修効果を高めるため、「医療関連法規」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「病態生理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「生体物性工学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更
- ・学修効果を高めるため、「生体材料工学」の配当年次を「2後」から「3前」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「医用治療技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「医用治療技術学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「呼吸機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「循環器機能代行装置学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「循環器機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・専任教員の就任及び退任により、「代謝機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の退任により、「医用機器安全管理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の退任により、「医用機器安全管理学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更
- ・専任教員の退任により、「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「臨床工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「臨床工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更
- ・専任教員の退任により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に変更

【令和5年度】

- ・非常勤講師の就任により、「中国語Ⅰ(入門)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「中国語Ⅱ(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更
- ・学修効果を高めるため、「スポーツ理論・実技」の配当年次を「1後」から「1前」に変更
- ・「スポーツ健康運動方法論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更
- ・専任教員の就任により、「キャリアデザインゼミナール」の専任教員の配置を「准教授2」から「准教授3」、「講師1」から「講師4」、「助教0」から「助教2」に変更
- ・教育の質を高めるため、「生理学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更
- ・非常勤講師の就任により、「医学概論」専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更
- ・専任教員の就任により、「応用数学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用機械工学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用化学工学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
- ・専任教員の就任により、「生体物性工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「生体材料工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用生体工学演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「医用機器学概論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「生体計測装置学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用治療技術学Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「医用治療技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用治療技術学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師2」に変更
- ・専任教員の就任により、「呼吸機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任により、「循環器機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任により、「代謝機能代行装置学Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の退任により、「代謝機能代行装置学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の退任により、「代謝機能代行装置学実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用機器安全管理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用機器安全管理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用機器安全管理学Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の就任により、「医用機器安全管理学実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師3」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・学修効果を高めるため、「病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更
- ・学修効果を高めるため、「病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任2」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「臨床実習」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」、「助教0」から「助教1」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「臨床工学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「臨床工学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・専任教員の退任及び就任により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」に変更
- ・学修効果を高めるため、履修上限を「46単位」から「48単位」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
71 科目	25 科目	科目	96 科目	70 科目 [Δ1]	27 科目 [2]	科目 []	97 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	スペイン語Ⅰ（入門）	2	2前	一般	選択	就任予定教員（兼任教員）の急な辞退の為。令和6年度に開講年度を変更。
2	スペイン語Ⅱ（初級）	2	2後	一般	選択	就任予定教員（兼任教員）の急な辞退の為。令和6年度に開講年度を変更。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度の未開講科目（スペイン語Ⅰ・Ⅱ）については、就任予定教員（兼任教員）の就任辞退の申し出があったことから、令和6年度に開講年度を変更する。学生に対しては年度初頭における「履修ガイダンス」や「掲示板」等にて周知するとともに、①他の第二外国語科目を選択履修する、あるいは②令和6年度に選択履修する、以上の具体的な対応で個別の履修相談にて対応しており、学生の履修計画及び履修において問題はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{96} = \boxed{2.08}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	浦安・日の出キャン パス整備等に伴う変 更 (4) (5)		
	校舎敷地	173,394 m ² 166,730 m² 166,857 m²	0 m ²	0 m ²	173,394 m ² 166,730 m² 166,857 m²			
	運動場用地	142,366 m ²	0 m ²	0 m ²	142,366 m ²			
	小 計	315,759 m ² 309,095 m² 308,223 m²	0 m ²	0 m ²	315,759 m ² 309,095 m² 308,223 m²			
	そ の 他	141,497 m ² 147,111 m² 147,814 m²	0 m ²	0 m ²	141,497 m ² 147,111 m² 147,814 m²			
	合 計	457,256 m ² 456,206 m² 456,037 m²	0 m ²	0 m ²	457,256 m ² 456,206 m² 456,037 m²			
(2) 校 舎	専 用	171,003 m ² 150,661 m² 137,721 m² (137,721 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	171,003 m ² 150,661 m² 137,721 m² (137,721 m ²)	浦安・日の出キャン パス整備等に伴う変 更 (4) (5)		
	共 用							
(3) 教 室 等	講 義 室	6室	6室	13室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)	3室 (補助職員 0人)		
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	医療科学部		18 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 (4) (5) 299,392冊297-111冊295-139冊 〔105,029冊〕-〔104,969冊〕- 〔104,915冊〕- 学術雑誌 5,385種5,378種5,350種 〔2,007種〕-〔2,008種〕- 〔2,008種〕- 電子ジャーナル 44,614誌43,549誌35,565誌 〔42,961誌〕-〔41,945誌〕- 〔34,013誌〕- 視聴覚資料 3,829点2,808点3,756点 機械・器具 52,971点 標本 684点
	医療科学部	7,350 [1,850] (3,670 [920])	33 [13] (15 [6])	3 [3] (2 [2])	100 (30)	1,220 (610)	10 (5)	
	計	7,350 [1,850] (3,670 [920])	33 [13] (15 [6])	3 [3] (2 [2])	100 (30)	1,220 (610)	10 (5)	
(6) 図 書 館	面 積	3,818m ² 3,374m²	閱 覧 座 席 数	893 693	収 納 可 能 冊 数	323,967 210,195		
	面 積	17,386m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要					
(7) 体 育 館	柔道場 1室		剣道場 1室		図書館、体育館及び スポーツ施設は大学 全体を記載			
	テニスコート 14面15面		サッカー場 1面		浦安日の出キャンパ ス整備等による変更 (4)			
	ラグビー場 1面		陸上競技場 1面					
	室内プール 1面		野球場 1面					
	ゴルフ練習場 1面		投てき場 1面					
	フットサルコート 2面							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員 1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	14,000千円	3,600千円	3,600千円	
	共同研究費等	2,000千円	3,000千円	設備購入費	200,000千円	50,000千円	10,000千円	
	学生 1人当り 納付金	第 1 年次 1,750千円	第 2 年次 1,780千円	第 3 年次 1,780千円	第 4 年次 1,780千円	第 5 年次 — 千円	第 6 年次 — 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、事業収入、補助金収入等の一部を充当する					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	順天堂大学					平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
医学部 医学科	6	140	-	829	学士(医学)	1.00	-	1.00	-	令和5	昭和27	東京都文京区本郷2丁目1番1号	令和2年度から入学定員変更(140→135) 令和3年度から入学定員変更(135→136) 令和4年度から入学定員変更(136→138) 令和5年度から入学定員変更(138→140)
スポーツ健康科学部	4	600	-	2210	-	1.02	-	1.01	-	令和3	平成5	千葉県印西市平賀学園1丁目1番地	
スポーツ健康科学科	4	600	-	1800	学士(スポーツ健康科学)	1.02	-	1.02	-	令和3	令和3	同上	令和3年度開設
スポーツ科学科	4	-	-	-	学士(スポーツ科学)	-	-	-	-	-	平成5	同上	令和3年度入学生より学生募集停止
スポーツマネジメント学科	4	-	-	-	学士(スポーツマネジメント)	-	-	-	-	-	平成5	同上	令和3年度入学生より学生募集停止
健康学科	4	-	-	-	学士(健康)	-	-	-	-	-	平成5	同上	令和3年度入学生より学生募集停止
医療看護学部 看護学科	4	220	-	840	学士(看護)	0.99	-	0.99	-	令和4	平成16	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	令和4年度から入学定員変更(200→220)
保健看護学部 看護学科	4	130	-	500	学士(看護)	1.03	-	1.01	-	令和4	平成22	静岡県三島市大宮町3丁目1番33号	令和4年度から入学定員変更(120→130)
国際教養学部 国際教養学科	4	240	-	960	学士(国際教養)	0.98	-	0.96	-	-	平成27	東京都文京区本郷2丁目1番1号	
保健医療学部	4	240	-	960	-	1.00	-	1.00	-	-	令和元	東京都文京区本郷2丁目1番1号	
理学療法学科	4	120	-	480	学士(理学療法)	1.00	-	1.00	-	-	令和元	同上	
診療放射線学科	4	120	-	480	学士(放射線技術)	1.00	-	1.00	-	-	令和元	同上	
医療科学部	4	180	-	360	-	1.01	-	1.01	-	令和4	令和4	千葉県浦安市日の出6丁目8-1	令和4年度開設
臨床検査学科	4	110	-	220	学士(臨床検査)	1.01	-	1.01	-	令和4	令和4	同上	令和4年度開設
臨床工学科	4	70	-	140	学士(臨床工学)	1.00	-	1.00	-	令和4	令和4	同上	令和4年度開設
健康データサイエンス学部 健康データサイエンス学科	4	100	-	100	学士(健康データサイエンス)	1.01	-	1.01	-	令和5	令和5	同上	令和5年度開設
大学全体		1850	-	6759	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療科学部 臨床工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 (67) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生化学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	峰島 三千男 (67) <令和4年4月> 工学博士
		キャリアデザインゼミナール 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 医用機械工学 代謝機能代行装置学Ⅰ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	佐藤 正一 (63) <令和4年4月> 博士(保健学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 医用画像処理工学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	六車 仁志 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎物理学 キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅱ システム工学 システム工学演習 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	小久保 謙一 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用化学工学 生体材料工学 医用生体工学演習 代謝機能代行装置学Ⅱ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	大内 克洋 (50) <令和4年4月> 博士(学術)
		キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅰ 医用電子工学Ⅰ 医用電気・電子工学実験 計測工学演習 システム工学演習 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 (67) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生化学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	峰島 三千男 (67) <令和4年4月> 工学博士
		キャリアデザインゼミナール 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 医用機械工学 代謝機能代行装置学Ⅰ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 代謝機能代行装置学実習
専	教授	佐藤 正一 (63) <令和4年4月> 博士(保健学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 医用画像処理工学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	六車 仁志 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎物理学 キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅱ システム工学 システム工学演習 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	小久保 謙一 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用化学工学 生体材料工学 医用生体工学演習 代謝機能代行装置学Ⅱ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	大内 克洋 (50) <令和5年4月> 博士(学術)
		医用電気工学Ⅰ 医用電子工学Ⅰ 医用電気・電子工学実験 計測工学演習 システム工学演習 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長岡 功 (68) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生化学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	峰島 三千男 (68) <令和4年4月> 博士(工学)
		キャリアデザインゼミナール 応用数学Ⅱ 医用化学工学 代謝機能代行装置学Ⅰ 代謝機能代行装置学Ⅱ 代謝機能代行装置学実習 代謝機能代行技術学Ⅰ 代謝機能代行技術学Ⅱ 代謝機能代行技術学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	佐藤 正一 (64) <令和4年4月> 博士(保健学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 医用画像処理工学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	六車 仁志 (57) <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎物理学 キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅱ システム工学 システム工学演習 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	大内 克洋 (51) <令和5年4月> 博士(学術)
		キャリアデザインゼミナール 医用電気工学Ⅰ 医用電子工学Ⅰ 医用電気・電子工学実験 医用電気工学実験 医用電子工学実験 計測工学演習 システム工学演習 生体計測装置学実習 生体計測技術学実習 生体計測技術学 生体計測装置学 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小寺 宏尚 (51) <令和5年4月> 博士(医学)
		医用治療技術学Ⅱ 医用治療技術学実習 呼吸機能代行装置学Ⅰ 呼吸機能代行装置学実習 代調機能代行装置学実習 医用機器安全管理学Ⅱ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	塚尾 浩 (48) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 医用機器学概論 医用治療技術学Ⅰ 医用治療技術学実習 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	東郷 好美 (47) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 病態生理学 呼吸機能代行装置学Ⅱ 呼吸機能代行装置学実習 循環器機能代行装置学Ⅰ 循環器機能代行装置学実習 医用機器安全管理学Ⅰ 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	浅井 孝夫 (42) <令和4年4月> 博士(医学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 臨床生化学 基礎情報工学 医用情報処理工学 医用情報処理工学演習 臨床統計学 生体物性工学 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	中谷 直史 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用電子工学Ⅱ 医用電気・電子工学実験 計測工学 計測工学演習 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚尾 浩 (48) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 医用機器学概論 医用治療技術学Ⅰ 医用治療技術学実習 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 生理学 呼吸機能代行装置学Ⅰ 呼吸機能代行装置学Ⅱ 呼吸機能代行装置学実習 医用機器安全管理学Ⅱ
専	准教授	浅井 孝夫 (42) <令和4年4月> 博士(医学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 臨床生化学 基礎情報工学 医用情報処理工学 医用情報処理工学演習 臨床統計学 生体物性工学 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	中谷 直史 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用電子工学Ⅱ 医用電気・電子工学実験 計測工学 計測工学演習 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	塚尾 浩 (49) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生理学 基礎医学実習 医用機器学概論 医用機器学概論(臨床文技技術論含む) 医用治療技術学Ⅰ 医用治療技術学Ⅱ 呼吸機能代行装置学Ⅰ 呼吸機能代行装置学Ⅱ 呼吸機能代行装置学実習 呼吸機能代行装置学実習 医療安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅰ 医療安全管理学Ⅱ 医療安全管理学Ⅲ 医療安全管理学実習 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	浅井 孝夫 (43) <令和4年4月> 博士(医学)
		情報科学基礎演習 キャリアデザインゼミナール 臨床生化学 基礎情報工学 医用情報処理工学 医用情報処理工学演習 臨床統計学 医用生体工学演習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	中谷 直史 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		キャリアデザインゼミナール 医用電子工学Ⅱ 医用電気・電子工学実験 医用電気工学実験 医用電子工学実験 計測工学 計測工学演習 生体計測技術学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 生体計測装置学実習 医療安全管理学Ⅱ 医療安全管理学実習 医用機器安全管理学Ⅲ 医療安全管理学実習 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	藤井 豊 (37) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 生理学 基礎医学実習 医用治療技術実習 循環器機能代行装置学Ⅱ 循環器機能代行装置学実習 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	門屋 悠香 (43) 〈令和5年4月〉 博士(医学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	門屋 悠香 (42) 〈令和4年4月〉 博士(医学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	助教	堀内 優奈 (28) 〈令和4年4月〉 博士(保健学) 基礎化学 情報科学基礎演習
兼任	助教	堀 敦詞 (31) 〈令和4年4月〉 医学(保健学) 基礎生物学 情報科学基礎演習
兼任	准教授	加茂 敦子 (42) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 解剖学
兼任	教授	泉 浩 (63) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 病理学 医学概論 病態学Ⅲ(神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患)
兼任	准教授	野木 峻実子 (55) 〈令和4年4月〉 博士(臨床検査学) 血液学
兼任	教授	三宅 一徳 (63) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 医学概論 子一ム医療 病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患) 病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)
兼任	教授	青木 きよ子 (73) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 看護学概論
兼任	教授	行正 信康 (65) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 臨床免疫学
兼任	講師	高橋 徳江 (64) 〈令和4年10月〉 学士(栄養学) 栄養学・臨床栄養学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	門屋 悠香 (42) 〈令和4年4月〉 博士(医学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	門屋 悠香 (42) 〈令和4年4月〉 博士(医学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	助教	堀内 優奈 (28) 〈令和4年4月〉 博士(保健学) 基礎化学 情報科学基礎演習
兼任	助教	堀 敦詞 (31) 〈令和4年4月〉 医学(保健学) 基礎生物学 情報科学基礎演習
兼任	准教授	加茂 敦子 (42) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 解剖学
兼任	教授	泉 浩 (63) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 病理学 医学概論 病態学Ⅲ(神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患)
兼任	教授	青木 きよ子 (72) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 看護学概論
兼任	教授	行正 信康 (65) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 臨床免疫学
兼任	講師	高橋 徳江 (64) 〈令和4年10月〉 学士(栄養学) 栄養学・臨床栄養学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	門屋 悠香 (43) 〈令和5年4月〉 博士(医学) キャリアデザインゼミナール スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	助教	堀内 優奈 (29) 〈令和4年4月〉 博士(保健学) 基礎化学 情報科学基礎演習
兼任	助教	堀 敦詞 (32) 〈令和4年4月〉 医学(保健学) 基礎生物学 情報科学基礎演習
兼任	准教授	加茂 敦子 (43) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 解剖学
兼任	教授	泉 浩 (64) 〈令和4年4月〉 博士(医学) 病理学 医学概論 病態学Ⅲ(神経・運動器・腎泌尿生殖器・小児疾患)
兼任	教授	青木 きよ子 (73) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 看護学概論
兼任	教授	行正 信康 (66) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 臨床免疫学
兼任	講師	高橋 徳江 (65) 〈令和4年10月〉 学士(栄養学) 栄養学・臨床栄養学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	京極 伸介 (62) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 放射線医学概論
兼任	教授	三井田 孝 (66) 〈令和7年4月〉 博士(医学) 医療倫理論
兼任	教授	佐々木 信一 (59) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)
兼任	教授	長田 太郎 (56) 〈令和5年4月〉 博士(医学) 病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)
兼任	教授	卜部 貴夫 (63) 〈令和5年10月〉 博士(医学) 病態学Ⅲ(神経・運動器・泌尿生殖器・小児疾患)
兼任	教授	岡本 健 (62) 〈令和6年4月〉 博士(医学) 救命救急学概論
兼任	助教	平野 洋平 (42) 〈令和6年4月〉 博士(医学) 集中治療医学
兼任	講師	柿沼 美穂 (60) 〈令和4年4月〉 修士(芸術学) 科学と哲学
兼任	講師	石上 和敬 (58) 〈令和4年4月〉 博士(文学) 生命倫理
兼任	講師	後藤 新 (45) 〈令和4年10月〉 修士(法学) 日本近現代史 法と社会
兼任	講師	小西 聖子 (67) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 人間関係論(コミュニケーション論) 臨床心理学
兼任	講師	山本 このみ (34) 〈令和4年10月〉 修士(臨床心理学) 人間関係論(コミュニケーション論) 臨床心理学
兼任	講師	積田 淳史 (39) 〈令和4年10月〉 博士(商学) 情報コミュニケーション論
兼任	講師	永井 政治 (48) 〈令和5年4月〉 博士(経済学) 現代社会と経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	京極 伸介 (62) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 放射線医学概論
兼任	教授	三井田 孝 (63) 〈令和7年4月〉 博士(医学) 医療倫理論
兼任	教授	佐々木 信一 (58) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)
兼任	教授	長田 太郎 (55) 〈令和5年4月〉 博士(医学) 病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)
兼任	教授	卜部 貴夫 (61) 〈令和5年10月〉 博士(医学) 病態学Ⅲ(神経・運動器・泌尿生殖器・小児疾患)
兼任	教授	岡本 健 (60) 〈令和6年4月〉 博士(医学) 救命救急学概論
兼任	助教	平野 洋平 (40) 〈令和6年4月〉 博士(医学) 集中治療医学
兼任	講師	柿沼 美穂 (60) 〈令和4年4月〉 修士(芸術学) 科学と哲学
兼任	講師	石上 和敬 (58) 〈令和4年4月〉 博士(文学) 生命倫理
兼任	講師	後藤 新 (45) 〈令和4年10月〉 修士(法学) 日本近現代史 法と社会
兼任	講師	小西 聖子 (67) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 人間関係論(コミュニケーション論) 臨床心理学
兼任	講師	山本 このみ (34) 〈令和4年10月〉 修士(臨床心理学) 人間関係論(コミュニケーション論) 臨床心理学
兼任	講師	積田 淳史 (39) 〈令和4年10月〉 博士(商学) 情報コミュニケーション論
兼任	講師	永井 政治 (47) 〈令和5年4月〉 博士(経済学) 現代社会と経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	京極 伸介 (63) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 放射線医学概論
兼任	教授	三井田 孝 (64) 〈令和7年4月〉 博士(医学) 医療倫理論
兼任	教授	佐々木 信一 (59) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患)
兼任	教授	長田 太郎 (56) 〈令和5年4月〉 博士(医学) 病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)
兼任	教授	卜部 貴夫 (62) 〈令和5年10月〉 博士(医学) 病態学Ⅲ(神経・運動器・泌尿生殖器・小児疾患)
兼任	教授	岡本 健 (61) 〈令和6年4月〉 博士(医学) 救命救急学概論
兼任	助教	平野 洋平 (41) 〈令和6年4月〉 博士(医学) 集中治療医学
兼任	講師	柿沼 美穂 (61) 〈令和4年4月〉 修士(芸術学) 科学と哲学
兼任	講師	石上 和敬 (59) 〈令和4年4月〉 博士(文学) 生命倫理
兼任	講師	後藤 新 (46) 〈令和4年10月〉 修士(法学) 日本近現代史 法と社会
兼任	講師	小西 聖子 (68) 〈令和4年10月〉 博士(医学) 人間関係論(コミュニケーション論) 臨床心理学
兼任	講師	山本 このみ (35) 〈令和4年10月〉 修士(臨床心理学) 人間関係論(コミュニケーション論) 臨床心理学
兼任	講師	積田 淳史 (40) 〈令和4年10月〉 博士(商学) 情報コミュニケーション論
兼任	教授	永井 政治 (48) 〈令和5年4月〉 博士(経済学) 現代社会と経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 宏樹 (37) 〈令和4年4月〉 博士(数理学)
		基礎数学
兼任	講師	NAKAMURA KEIKO (60) 〈令和4年4月〉 Ph. D. (Psychology)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	濱田 彰 (36) 〈令和4年4月〉 博士(言語学)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	梶浦 恭平 (42) 〈令和4年4月〉 修士(学術)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	HAYASHI PATRIZIA (57) 〈令和5年4月〉 Master of Business Administration
		英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	RODE TYSON (43) 〈令和5年4月〉 Master of Science in Education
		英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	杉 雪子 (70) 〈令和6年4月〉 医学博士
		医療英語
兼任	講師	劉 磊 (45) 〈令和5年4月〉 修士(応用言語学)
		中国語 I (入門) 中国語 II (初級)
兼任	講師	久松 健一 (67) 〈令和5年4月〉 文学修士
		フランス語 I (入門) フランス語 II (初級)
兼任	講師	棚瀬 あずさ (38) 〈令和5年4月〉 博士(文学)
		スペイン語 I (入門) スペイン語 II (初級)
兼任	講師	佐々木 文彦 (63) 〈令和4年4月〉 文学修士
		国語表現法
兼任	講師	西川 寛之 (50) 〈令和4年4月〉 修士(応用言語学)
		国語表現法
兼任	講師	田鍋(吉田) 桂子 (49) 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		国語表現法
兼任	講師	田城 孝雄 (65) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		公衆衛生学 医療関連法規

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 宏樹 (37) 〈令和4年4月〉 博士(数理学)
		基礎数学
兼任	講師	NAKAMURA KEIKO (60) 〈令和4年4月〉 Ph. D. (Psychology)
		英語 I 英語 II
兼任	講師	HAYASHI PATRIZIA (56) 〈令和4年4月〉 Master of Business Administration
		英語表現 I 英語表現 II 英語 I 英語 II
兼任	講師	RODE TYSON (42) 〈令和4年4月〉 Master of Science in Education
		英語表現 I 英語表現 II 英語 I 英語 II
兼任	講師	杉 雪子 (68) 〈令和6年4月〉 医学博士
		医療英語
兼任	講師	劉 磊 (44) 〈令和5年4月〉 修士(応用言語学)
		中国語 I (入門) 中国語 II (初級)
兼任	講師	久松 健一 (66) 〈令和5年4月〉 文学修士
		フランス語 I (入門) フランス語 II (初級)
兼任	講師	棚瀬 あずさ (37) 〈令和5年4月〉 博士(文学)
		スペイン語 I (入門) スペイン語 II (初級)
兼任	講師	佐々木 文彦 (63) 〈令和4年4月〉 文学修士
		国語表現法
兼任	講師	西川 寛之 (50) 〈令和4年4月〉 修士(応用言語学)
		国語表現法
兼任	講師	田鍋(吉田) 桂子 (49) 〈令和4年4月〉 修士(教育学)
		国語表現法
兼任	講師	田城 孝雄 (65) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		公衆衛生学 医療関連法規

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	近藤 宏樹 (37) 〈令和4年4月〉 博士(数理学)
		基礎数学
兼任	教授	HAYASHI PATRIZIA (57) 〈令和4年4月〉 Master of Business Administration
		英語表現 I 英語表現 II 英語 I 英語 II
兼任	講師	RODE TYSON (43) 〈令和4年4月〉 Master of Science in Education
		英語 I 英語 II
兼任	講師	杉 雪子 (69) 〈令和6年4月〉 医学博士
		医療英語
兼任	講師	劉 磊 (45) 〈令和5年4月〉 修士(応用言語学)
		中国語 I (入門) 中国語 II (初級)
兼任	講師	佐々木 文彦 (64) 〈令和4年4月〉 文学修士
		国語表現法
兼任	講師	田城 孝雄 (66) 〈令和4年4月〉 博士(医学)
		公衆衛生学 医療関連法規

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	亀井 淳三 (66) <令和4年10月> 薬学博士
		臨床薬理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	亀井 淳三 (66) <令和4年10月> 薬学博士
		臨床薬理学
専	講師	向田 宏 (40) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 病態生理学 医用治療技術学Ⅱ 循環器機能代行装置学Ⅰ 循環器機能代行装置学Ⅱ 循環器機能代行装置学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		梅森 宮加 (33) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学
		廣井 禎之 (62) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学
		木村 豊 (57) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学
		辻川 比呂斗 (41) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール
		東 克巳 (71) <令和4年10月> 博士(医学)
		血液学
兼任	教授	佐藤 まゆみ (58) <令和4年10月> 博士(看護学)
		看護学概論
兼任	准教授	高谷 真由美 (55) <令和4年10月> 博士(医学)
		看護学概論
兼任	准教授	池田 恵 (48) <令和4年10月> 博士(医学)
		看護学概論
兼任	准教授	長瀬 雅子 (52) <令和4年10月> 博士(社会学)
		看護学概論
兼任	准教授	樋野 恵子 (50) <令和4年10月> 博士(医学)
		看護学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	亀井 淳三 (67) <令和4年10月> 薬学博士
		臨床薬理学
専	講師	向田 宏 (41) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール 基礎医学実習 病態生理学 医用治療技術学実習 呼吸器機能代行装置学実習 呼吸器機能代行装置学実習 循環器機能代行装置学Ⅰ 循環器機能代行装置学Ⅱ 循環器機能代行装置学Ⅰ 循環器機能代行装置学Ⅱ 循環器機能代行装置学実習 循環器機能代行装置学実習 医療安全管理学Ⅰ 医療安全管理学Ⅱ 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅱ 医療安全管理学実習 医用機器学安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
		梅森 宮加 (34) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学
		廣井 禎之 (63) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学
		木村 豊 (58) <令和4年4月> 博士(医学)
		生理学
		辻川 比呂斗 (42) <令和4年4月> 博士(医学)
		キャリアデザインゼミナール
		東 克巳 (72) <令和4年10月> 博士(医学)
		血液学
兼任	教授	佐藤 まゆみ (59) <令和4年10月> 博士(看護学)
		看護学概論
兼任	教授	高谷 真由美 (56) <令和4年10月> 博士(医学)
		看護学概論
兼任	准教授	池田 恵 (49) <令和4年10月> 博士(医学)
		看護学概論
兼任	准教授	長瀬 雅子 (53) <令和4年10月> 博士(社会学)
		看護学概論
兼任	准教授	樋野 恵子 (51) <令和4年10月> 博士(医学)
		看護学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	新作 慶明 (38) <令和4年10月> 博士(文学) 生命倫理
兼任	講師	井上 美佳 (26) <令和4年9月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	黒川 優介 (27) <令和4年9月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	松本 行矢 (26) <令和4年9月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	岸 秀忠 (28) <令和4年9月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	中村 剛 (45) <令和4年4月> 修士(コーチ学) キャリアデザインゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	新作 慶明 (39) <令和4年10月> 博士(文学) 生命倫理
兼任	講師	中村 剛 (46) <令和4年4月> 修士(コーチ学) キャリアデザインゼミナール
専	講師	高野 明日香 (42) <令和5年4月> 博士(医学) キャリアデザインゼミナール 生理学 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅱ 医用治療技術学実習 循環器機能代行技術学実習 循環器機能代行装置学実習 医療安全管理学Ⅰ 医療安全管理学Ⅱ 医用治療技術学Ⅰ 医用治療技術学Ⅱ 医療安全管理学実習 医用機器安全管理学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	清川 亘希 (37) <令和5年4月> 博士(工学) キャリアデザインゼミナール 応用数学Ⅰ 医用機械工学 生体物性工学 生体材料工学 医用生体工学実習 臨床実習 臨床工学総合演習Ⅰ 臨床工学総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	浦邊 俊一郎 (36) <令和5年4月> 博士(医学) キャリアデザインゼミナール 医用機器学概論(臨床支援技術論含む) 呼吸機能代行技術学実習 呼吸機能代行装置学実習 循環器機能代行技術学実習 循環器機能代行装置学実習 代謝機能代行技術学Ⅰ 代謝機能代行技術学Ⅱ 代謝機能代行装置学Ⅰ 代謝機能代行装置学Ⅱ 代謝機能代行装置学実習 代謝機能代行技術学実習 医療安全管理学Ⅰ 医療安全管理学Ⅱ 医療安全管理学Ⅲ 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅱ 医用機器安全管理学Ⅲ 医療安全管理学実習 医用機器安全管理学実習 臨床実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名	
兼任	教授	小倉 正恒 (51) <令和5年4月> 博士(医学) 医学概論 病態学Ⅰ(循環器・呼吸器・感染症・血液疾患) 病態学Ⅱ(消化器・代謝・内分泌・免疫疾患)
兼任	講師	森 真太郎 (42) <令和5年4月> 博士(文学) フランス語Ⅰ(入門) フランス語Ⅱ(初級)
兼任	講師	行田 悦子 (58) <令和5年4月> 修士 国語表現法
兼任	講師	藤本 陽子 (53) <令和5年4月> 修士 国語表現法
兼任	講師	福家 理都 (27) <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	久永 将太 (31) <令和5年4月> 博士(スポーツ健康科学) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	Chang Tekka (45) <令和5年4月> 修士(英語教育) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
兼任	講師	福川 尚汰 (25) <令和5年4月> 修士 スポーツ理論・実技
兼任	講師	花田 祐 (25) <令和5年4月> 学士(スポーツマネジメント) スポーツ理論・実技 スポーツ健康運動方法論
兼任	講師	孫 恩琦 (34) <令和5年4月> 修士(国際学) 中国語Ⅰ(入門) 中国語Ⅱ(初級)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・令和4年3月末に小寺宏尚准教授が就任辞退
- ・令和4年3月末に東郷好美准教授が就任辞退
- ・令和4年3月末に藤井豊講師が就任辞退、令和4年4月に後任として向田宏講師が就任
- ・令和4年3月末に野木岐実子非常勤講師が就任辞退、令和4年4月に後任として東克巳非常勤講師が就任
- ・令和4年3月末に濱田彰非常勤講師が就任辞退、令和4年4月に後任としてHAYASHI PATRIZIA非常勤講師が就任
- ・令和4年3月末に梶浦恭平非常勤講師が就任辞退、令和4年4月に後任としてRODE TYSON非常勤講師が就任
- ・令和4年4月に新作慶明非常勤講師が就任（教育内容充実のため、石上和敬非常勤講師（授業科目「生命倫理」）とオムニバス授業実施）
- ・令和4年4月に佐藤まゆみ（兼任）、高谷真由美（兼任）、池田恵（兼任）、長瀬雅子（兼任）、樋野恵子（兼任）が就任（教育内容充実のため、青木きよ子非常勤講師（授業科目「看護学概論」）とオムニバス授業実施）
- ・令和4年4月に梅森宮加（兼任）、廣井禎之（兼任）、木村豊（兼任）が就任し生理学を担当
- ・令和4年9月に井上美佳非常勤講師、黒川優介非常勤講師、松本行矢非常勤講師、岸秀忠非常勤講師が就任し、スポーツ科目を担当
- ・令和4年4月に辻川比呂斗（兼任）、中村剛非常勤講師が就任し、キャリアデザインゼミナールを担当

【令和5年度】

- ・令和5年1月末に小久保謙一准教授が就任辞退。
- ・令和5年3月末にNAKAMURA KEIKO非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任としてCHANG TEKKA非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に久松健一非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として森真太郎非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に棚瀬あずさ非常勤講師が辞退。
- ・令和5年3月末に西川寛之非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として行田悦子非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に田鍋（吉田）桂子非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として藤本陽子非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に井上美佳非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として福家瑠都非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に黒川優介非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として久永将太非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に松本行矢非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として稲川尚汰非常勤講師が就任。
- ・令和5年3月末に岸秀忠非常勤講師が辞退したため、令和5年4月に後任として花田祐非常勤講師が就任。
- ・令和5年4月に高野明日香講師が就任。
- ・令和5年4月に滑川亘希講師が就任。
- ・令和5年4月に浦邊俊一助教が就任。
- ・令和5年4月に小倉正非常勤が就任。
- ・令和5年4月に孫思琦非常勤講師が就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	6	2	1	13	0	4	3	4	2	13	0
(4)	(2)	(0)	(1)	(7)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	3	4	2	13	0	4	3	4	2	13	0
[0]	[Δ2]	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ2]	[2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{13} = \boxed{15.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	小寺 宏尚	R4.3	必修	医用治療技術学Ⅱ	①	R4.03自己都合による理由により就任辞退		
				必修	医用治療技術学実習	①			
				必修	呼吸機能代行装置学Ⅰ	①			
				必修	呼吸機能代行装置学実習	①			
				必修	代謝機能代行装置学実習	①			
				必修	医用機器安全管理学Ⅱ	①			
				必修	臨床実習	①			
				必修	臨床工学総合演習Ⅰ	①			
				必修	臨床工学総合演習Ⅱ	①			
				必修	卒業研究Ⅰ	①			
				必修	卒業研究Ⅱ	①			
2	准教授	東郷 好美	R4.3	必修	キャリアデザインゼミナール	①	R4.03自己都合による理由により就任辞退		
				必修	基礎医学実習	①			
				選択	病態生理学	①			
				必修	呼吸機能代行装置学Ⅱ	①			
				必修	呼吸機能代行装置学実習	①			
				必修	循環器機能代行装置学Ⅰ	①			
				必修	循環器機能代行装置学実習	①			
				必修	医用機器安全管理学Ⅰ	①			
				必修	臨床実習	①			
				必修	臨床工学総合演習Ⅰ	①			
				必修	臨床工学総合演習Ⅱ	①			
				必修	卒業研究Ⅰ	①			
				必修	卒業研究Ⅱ	①			
3	講師	藤井 豊	R4.3	必修	キャリアデザインゼミナール	①	R4.03自己都合による理由により就任辞退		
				必修	生理学	②			
				必修	基礎医学実習	①			
				必修	医用治療技術学実習	①			
				必修	循環器機能代行装置学Ⅱ	①			
				必修	循環器機能代行装置学実習	①			
				必修	医用機器安全管理学実習	①			
				必修	臨床実習	①			
				必修	臨床工学総合演習Ⅰ	①			
				必修	臨床工学総合演習Ⅱ	①			
				必修	卒業研究Ⅰ	①			
				必修	卒業研究Ⅱ	①			
				4	准教授	小久保 謙一		R5.1	必修
必修	生体材料工学	①							
必修	医用生体工学演習	①							
必修	代謝機能代行装置学Ⅱ	①							
必修	代謝機能代行装置学実習	①							
必修	臨床実習	①							
必修	臨床工学総合演習Ⅰ	①							
必修	臨床工学総合演習Ⅱ	①							
必修	卒業研究Ⅰ	①							
必修	卒業研究Ⅱ	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	45 科目	必修	44 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	46 科目	計	45 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一③ 上記(3) 一① ・ (3) 一② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
4	人	必修	45	科目	必修	44	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	46	科目	計	45	科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)一③合計(D)+(F)}{(2)一②設置時の計画(A)} = \frac{4}{13} = \boxed{30.76} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) 一①、(3) 一②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当無し					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

小久保 謙一専任准教授の就任辞退に伴い後任の専任教員を採用するとともに、代替科目担当者について協議を重ね、小久保 謙一専任准教授の担当予定科目は専任教員全体で担当することとし、学生に対しては年度初頭における時間割表やシラバスへの記載はもちろんのこと、「学科ガイダンス」「履修ガイダンス」にてこのことを周知するとともに、クラスアドバイザーが学生の履修相談の際に個別対応した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	当初計画に対する専任教員の充足率が84.61%となっているが、当初計画どおりの専任教員数の確保に向けた今後の教員採用計画について、具体的に説明すること。また、当初計画よりも専任教員が減少している現状において、教育研究上の支障の有無について説明するとともに、何らかの支障がある場合は、その具体的な対応策等についても併せて説明すること。	【A C】 指摘事項 (改善)	就任予定であった専任教員4名の就任辞退に伴う対応として、2023(令和4)年後期に1名、2023(令和5)年4月に3名、計4名の専任教員の補充採用を行った。これにより、設置時の計画時に対する教員構成率は100.0%と改善されるとともに、教育研究水準を計画どおり担保することができた。	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医療科学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 令和4年度に医療科学部FD推進委員会を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 「医療科学部ファカルティ・ディベロップメント推進委員会運営規則」に即し、8月を除く毎月1回開催している。 推進委員会の委員数は、5名（学部教員数18名）で編成。 なお、「FD研修会」は令和4年度7回開催しており、専任教員の参加率は100%である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 第1回：学校法人順天堂の歴史を理解する 第2回：臨床検査技師及び臨床工学技士養成カリキュラム等の変更（見直し）について 第3回：アクティブラーニングの開発・研究：ファシリテーションを活用したチームビルディング 第4回：事例研究：J-Passの授業での活用方法 第5回：事例研究：Zoomを用いた授業運営の事例紹介（COVID-19への対応・対策としての遠隔授業の実践） 第6回：2022年度後期～2023年度前期までの基本方針と主な施策について 第7回：シラバスの書き方セミナー</p> <p>b 実施方法 原則対面方式（教職員全員参加）</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 全教員が出席。グループワーク等の演習が伴う内容以外は全て録画しており、オンデマンド方式で再度視聴ができる。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 教授会を含む各種委員会で検証を行い、授業改善等に活かしている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 授業評価アンケートは授業ごと（毎時間）に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員には授業内容・方法とシラバスの整合性を確認するため授業評価アンケート結果を毎回伝えている。 また、結果をもとに授業改善に関する具体的な方策を記したりフレクシオンペーパーを提出させる予定である。 これに基づきシラバスの内容を見直し、授業改善を図っている。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・令和4年4月、設置の趣旨・目的のとおり医療科学部臨床工学科を開設した。
- ・アドミッションポリシーに基づく適切な入学試験を実施し、令和4年度は70名、令和5年度は71名の入学生を受け入れ、順調にカリキュラム運営を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・第18次自己点検・評価報告書（令和5年度）令和5年7月公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、全学に配付するとともに、大学ホームページ上に掲載公表する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

本学は、本年度（9月～10月）に大学基準協会の認証評価受審（実地調査）が予定されている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。